

「いのちの根」

なみだをこらえて

かなしみにたえるとき

ぐちをいわずに

くるしみにたえるとき

いいわけをしなくて

だまって批判にたえるとき

いかりをおさえて

じつと屈辱にたえるとき

あなたの眼のいろが

ふかくなり

いのちの根が

ふかくなる

「こんげんだもの」相田みつを著（文化出版局）より引用